

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	千葉智子
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3613
事務事業名	4295 教育相談事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	02020900 子育て環境の整備						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	事業	060000 教育相談事業					
事業目的				事業概要・効果			
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。				小学校に入学後、個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援を実施。 スクールカウンセラーや心の教室相談等の専門職を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
対象児童：461人 アンケート回収率(保護者99.6%、保育士等100%) 巡回 5歳児65回 6歳児62回 小1 20回 すこやか教室10回 すこやか研修会 1回	対象児童：461人 アンケート回収率(保護者99.6%、保育士等100%) 巡回 5歳児65回 6歳児62回 少1 20回 すこやか教室18回 すこやか研修会 1回
平成26年度 実績	平成27年度 予定
発達アンケートの実施 巡回 5歳児、6歳児、小1 すこやか教室 すこやか研修会	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて問題解消に努める。 。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		13,888	4,314
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4	0
一般財源		13,884	4,314
人員数(人)	正規職員	1.0	0.0
	嘱託職員	3.0	3.0
	臨時職員	0.8	0.0
人員コスト	正規職員	6,858.0	0.0
	嘱託職員	8,175.0	8,175.0
	臨時職員	941.6	0.0
	計	15,974.6	8,175.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.2
総額		29,862.6	12,489.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	309	臨床心理士相談・すこやか研修会講師謝礼
11節 需用費	355	発達検査用紙の購入、すこやか教室教材費など
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,224	療育指導員・巡回教育相談員旅費、電話使用料など

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	3,695	スクールカウンセラー謝礼3,695,000円
11節 需用費	355	発送検査用紙の購入55,000円、スクールカウンセラー280,000円 心の教室相談員20,000円
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	264	電話使用料77,000円 相談員旅費187,000円

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童生徒の悩みについて、問題解消を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童生徒の悩みについて共感し、助言や指導をすることで、児童生徒の心の安定が得られた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	幼・保・小が連携し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
幼・保・小が連携し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を行う。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

継続観察・支援が必要と思われる児童について、就学前から小学校へ継続的に支援することで、児童の安定が図れている。

2次評価コメント

関係機関が連携した継続的支援の必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--